



横浜市議員 自民党 高橋のりみ

# のりみが行く

## 市政報告

# No.67

発行：自民党横浜市議員団  
編集：高橋のりみ政務調査事務所  
事務所：金沢区六浦 1-1-13  
電話：045-780-3199  
メール：takahashi@norimi.jp  
サイト：<http://norimi.jp>

令和2年度第3回定例会 本会議 9月8日

### 1 市民病院の新型コロナウイルス感染症による影響と病院経営

**自民党** 新市民病院はこれまでの延床面積が1.5倍に拡張するなど、手術室や集中治療室など高度先進医療を提供できる機能が大幅に向上しています。

これまでの新型コロナウイルス感染症患者の受入状況は？

**病院経営本部長** 2月5日にクルーズ船からの患者さんを受け入れて以降、8月末までに重症・中等症患者さんを中心に長期にわたり療養されている方を含め、合計で142名の陽性の患者さんを受入れました。なお、新型コロナウイルス感染症を疑う症例を含めると797名の入院患者さんを受入れています。

**自民党** 現在の市民病院の経営状況は？

**病院経営本部長** 新型コロナウイルス感染症の拡大等により、4月及び5月の患者さんの数は、入院・外来ともに前年度実績に比べて30%程度減少しており、厳しい経営状況となっています。6月以降の患者さんの数は回復傾向にあることから、新病院の施設・設備を最大限活用し、新型コロナウイルス感染症への対応とともに、高度急性期・政策的医療の積極的な提供に努めてまいります。

### 2 旧市民病院を活用した宿泊療養施設の運営

**自民党** 移転後の旧市民病院は、解体工事に着手する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、新病院への移転後、速やかに新型コロナウイルス感染症に感染された軽症、又は、無症状者の方の宿泊療養施設として活用できるよう準備を進め、5月3日に開所しています。宿泊療養施設は、入所者が24時間、日常生活を過ごす場所であり、食事の提供や健康観察など、様々なサポートが必要となります。宿泊療養施設のこれまでの利用状況と受入体制は？

**病院経営本部長** 5月3日の開所から8月末までに、累計で295名の陽性の患者さんの方を受け入れました。施設には入退所の手続き等を担う事務スタッフや、入所されている方の健康観察を行う看護師、施設管理を担う技術スタッフが約10名常駐し、入所されている方々の対応を行っています。

### 3 中途障害者への支援

**自民党** 中途障害者地域活動センターは、脳出血や脳梗塞により中途障害者となった方が通う施設で、作業やリハビリなどの生活訓練を通して、仲間づくりや地域との交流などをおこなっています。活動センターへ通うことで、自立の促進や生活の質の向上に効果があります。活動センターは、18区全区に展開しており、区役所の保健師と連携して、発症後間もない方のためのプログラムであるリハビリ教室などを実施しています。一方で、事業者からは運営が厳しい状況と聞いています。また、コロナ禍での新しい生活様式でのサービス提供など、不安定な状況も続いているところです。今後も安定したサービス提供を継続していくためには、運営費補助を充実するなどの方策が必要と考えます。

中途障害者地域活動センター運営支援の方向性は？

**林市長** 活動センターは、中途障害者の自立促進及び社会参加を目指して実施している市の独自事業です。活動センターが実施するリハビリ教室に区の保健師も参画するなど事業を支援しています。活動センターからは、運営面で厳しいところがあると聞いておりますので、今後も安定して継続できるよう支援や補助内容について検討してまいります。

**自民党** 「地域で暮らす障害者が日々の生活を充実させていくためには、多様な活動の場の一層の充実が重要」では？

**林市長** 就労に向けた訓練等を行う事業所やデイサービスを提供する事業所、そのほか地域の活動の場である作業所など多様な事業所を支援しています。引き続き地域で暮らす障害のある方が、本人の希望や状態に合わせた生活ができるよう、活動できる場所の選択肢を充実させていきます。



神奈川区選出 小松議員

### 4 市内米軍施設の返還促進

**自民党** 「返還合意がされていない施設の返還に向けた更なる取組が必要」では？

**林市長** 小松議員から御発言のありました小柴貯油施設跡地での工事事故についてですが、本当に事故に遭われた方の御冥福をお祈りするとともに、御遺族には心からお悔やみを申し上げます。返還合意がされていない施設には、米軍が現在使用している施設もあり、短期的な解決は難しい面があります。今後も市内米軍施設の返還の実現に向けて私自身が先頭に立ちまして、粘り強く国に働きかけてまいります。

### 5 横浜環状南線の整備促進

**自民党** 横浜環状南線の進捗状況は？

**平原副市長** 用地の取得率は約99%であり、全線に渡り本格的に工事が進んでいます。栄インターチェンジでは、約7割の橋脚が完成し橋桁の架設も始まっております。また釜利谷地区のトンネル工事に続き、桂台地区では、この10月からシールドトンネルの掘削に着手するなど早期開通に向けて整備を進めています。

**自民党** 横浜環状南線の整備効果は？

**林市長** 東名高速道路や中央道などにつながることで、横浜港の国際競争力の強化や横浜経済の活性化、更には緊急輸送路の確保による防災力の向上が図られます。また、市内幹線道路の混雑緩和により市内生活の利便性向上、沿道環境の改善などが期待されます。

### 6 関内駅周辺地区のまちづくり

**自民党** 「魅力的な駅前拠点づくりに向けて、旧市庁舎街区と隣接する民間街区の2つの開発を連携させ、まちづくりを進めるべき」では？

**平原副市長** 両街区では都市再生へつながる業務・商業・居住・交流などの多様な機能が融合したまちづくりを推進する方針を掲げた結果、それぞれ魅力的な提案を引き出すことができたと考えております。今後は両地区の開発事業者と十分な計画調整を図りながら、豊かな歩行者空間の創出や魅力的な景観づくりなど、さらに両開発を連携させ、関内・関外地区の新たなシンボルとなるよう拠点づくりを進めてまいります。

**自民党** 「関内駅周辺地区が横浜の新たな目的地となるよう、各拠点開発の強みを引き出す

など、横浜市がより一層のリーダーシップを発揮すべき」では？

**林市長** 本市が関内駅周辺のまちづくりの方針としてエリアコンセプトブックを策定し、これに基づき積極的に開発誘導した結果、大学やビジネス支援拠点、スポーツ施設など多様な機能の集積を図ることができました。こうした機能が相乗効果を生み、全体でまちの魅力を高めていけるよう事業者間の連携をより一層の努力を促し全庁一丸となって取り組みます。この新しい市庁舎建設、そして移転を決断する前には、私は関内・関外の経済活性化が非常に必要であるという風に考えました。当時ですね。そして、単なる行政機能だけにとどまるということでは、大変伝統的な建物でございましたけれども、残念だという気持ちがございました。ですから今回、結果的には、本当に先生に今言っていただきましたけれども、その跡地の空洞化の危惧ということがあるということでございますけれども、しっかりと三井不動産グループ、三菱地所グループとそこをとりまく地権者の方、民間の事業者の方たちの意欲も大変ありますので、本当に市としてはしっかりとこちらをやらせていただくという決意を持っているところでございます。

### 7 IRの方向性

**自民党** 「横浜IRの方向性」に関するパブリックコメントの結果についての見解は？

**林市長** 2020年代後半の開業を目指すIRについて多くの市民の皆様に、御関心をお持ちいただき、多くの御意見をいただいたこと、本当に感謝をしております。本当に様々な御意見をいただきましたので、これらの声をしっかりと受け止め、今後の施策に活かしてまいります。

**自民党** パブリックコメントの施策への反映は？

**平原副市長** いただいた御意見をもとに「横浜IRの方向性」を追加・修正させていただきました。例を申し上げますと「感染症や不測の事態に対する、実効性ある対策計画の策定をすべきである」あるいは「カジノへのドレスコードなどを設定すべきである」など、様々な御意見をいただいておりますので「横浜IRの方向性」に盛り込みました。また市民の皆様が大変心配されている依存症や治安対策についても、多くの御意見をいただいておりますので、実施方針や区域整備計画の作成において、しっかりと対策を検討してまいります。